

子どもと共に

祝 少年の日

大人への第一歩を踏み出しました

学年末テスト

二月十四日(水)から十六日(金)の三日間で、学年末テストを行いました。一年間を締めくくる大切なテストで、どの学年も復習をしっかり行い、テストに挑むことができました。

生徒の感想

二年 麻衣

私が学年末テストに向けて頑張ったことは、苦手教科の復習です。ワークやタブレットを有効活用して問題の解き直しなどをして復習をすることができ、土日には宿題をして終わりではなく、自分から進んで自主勉強をすることができたので良かったです。次のテストでは、自主学習の時間を増やして計画的にワークを進めて解き直し、テスト範囲をしっかりと復習し、志望校に合格できる実力を付けたいです。

発行人 中島中学校 校長 長野 真太郎 松山市長師 817 997-0204

二年 瀬斗

私は、テスト期間に入るまでに計画的にワークを進められませんでした。しかし、テスト期間には、寮での自習時間、学校の休み時間や昼休み、テスト当日の自習の時間を活用して勉強をすることができましたので良かったです。次のテストでは、自主学習の時間を増やして計画的にワークを進めて解き直し、テスト範囲をしっかりと復習し、志望校に合格できる実力を付けたいです。

三年 由奈

私は今回の学年末テストに向けて、特に社会や国語などの得意科目の勉強に力を入れて頑張りました。ワークの重要語句のまとめや、朝学習の教材を何度も見直したり、インターネットを使ったりして勉強することができました。テストは、時間配分が上手くできず、短時間でもしっかりと点を取ることができました。高校では、得意科目だけでなく、苦手科目の克服にも努めていきたいです。

少年の日

二年生が、二月一日(木)に、少年の日記念集会を行いました。

十四歳という節目を迎えた二年生は、どのような大人になっていきたいか、そのために何を実践していくか、それぞれの思いを力強く宣言しました。

合唱では、互いを信じて、ふるさとへの気持ちを声に乗せて響かせました。そして、書く内容から音楽、背景のイラストやレイアウトに至るまで、短い準備期間にもかかわらず、自分たちで練り上げた書道パフォーマンスを披露しました。さらに、個性あふれる自画像や、職場体験新聞の展示も行いました。

少年の日とは

日本には、かつて成人(大人)になることを示す儀式、「元服」や「髪上げ」がありました。十二〜十六歳の年齢になると、これらの儀式を行い、成人として扱われていたようです。愛媛県では、昭和三十九年に、毎年立春の日を「少年の日」と定められました。この日は、十四歳になる中学二年生が、大人としての自覚や将来を見据えた志を持ち、心身の健康を願う日です。これに合わせ、県内の各中学校で、「自覚」「立志」「健康」を誓う少年式や記念行事が行ってききました。愛媛県だけでなく、他県でも同じような行事が「立春式」や「立志式」という名称で行われています。

本校では、「少年の日記念集会」として集会を行ったり記念行事を行ったりするなど、形を変えて伝統を受け継いでいます。



少年の日記集会
を終えて

二年 桃希

今日の少年の日記念集会では、ハプニングがありました。自分なりに頑張ることができました。練習ではあまり緊張しませんが本番になると、緊張して何をするか忘れそうになりました。しかし、言葉をしっかりと大きな声で言うことができたのでよかったです。自分が言った言葉をこれから大切にしていきたいです。

二年 ももか

書道パフォーマンスのための学級での話し合いや、係として編集したしおり作り、合唱の練習などを通して、私は改めて、

自分に自信を持つことができませんでした。また、親に成長した姿を見せることができてよかったですと思います。

二年 菜々

練習の成果を存分に発揮することができました。声の出し方や移動の仕方に気を付けて、全力で臨むことができました。思います。普段伝えることのできない親への感謝も伝えることができました。よかったです。少年の日記念集会を通して学んだことをこれから生かしていきたいです。

